



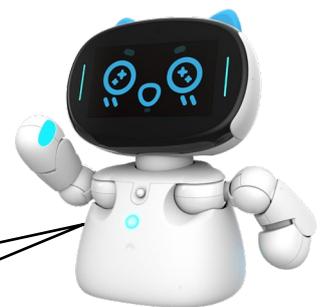
「308号室の温度が30℃を越えているよ！」

いまイルモ×コミュニケーションロボット「Kebbi Air」と連携

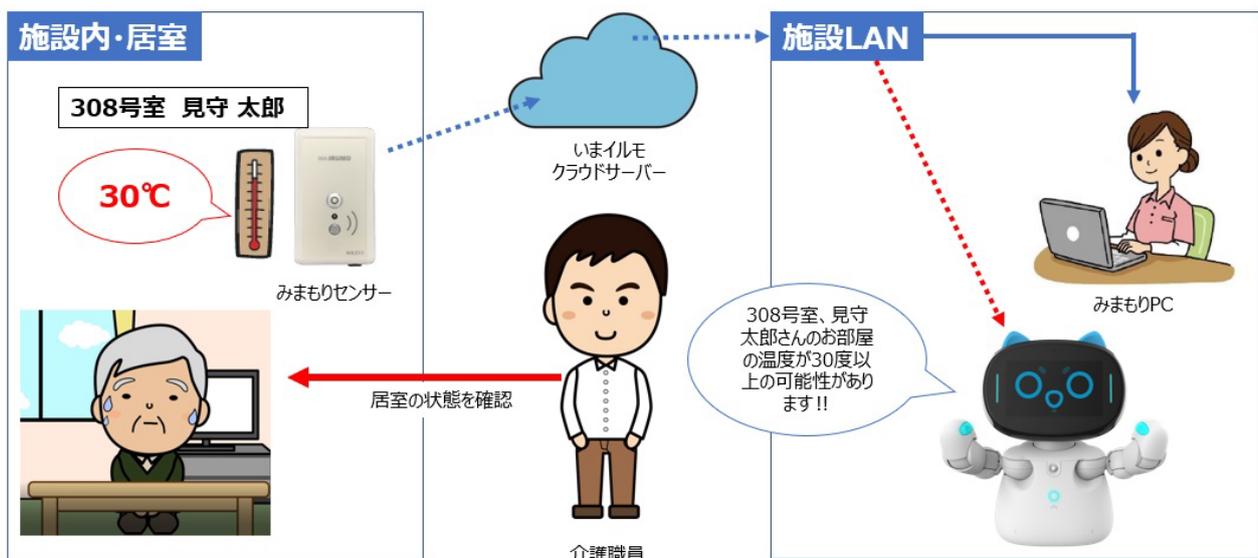
IoTによる見守り支援システム「いまイルモ」を提供する株式会社ソルクシーズ（本社：東京都港区、代表：長尾 章、東証一部 証券コード：4284、以下ソルクシーズ）は、コミュニケーションロボット「Kebbi Air」を使った新しい見守りシステム（以下、「いまイルモ Kebbi Air」（仮称））を開発しましたのでお知らせいたします。2022年春より、介護施設での実証実験を開始する予定です。

「Kebbi Air」は、NUWA ROBOTICS社が開発したコミュニケーションロボットです。画像認識、音声認識・合成、人感センサー、タッチスクリーン、タッチセンサー、チャットボットなどを搭載し、AIサーボモーターで制御した可動部による滑らかなジェスチャーと、ディスプレイに表示した多彩な表情でコミュニケーションをとることができます。

そろそろお昼ご飯の時間だよ。



「いまイルモ」のコミュニケーションロボットを使ったシステムは、「外出防止支援ロボット」に続き第二弾となります。通常機能「安否通知」「温度通知」「湿度通知」「バイタル通知」「ドア通知」に加え、通知を音声で知らせるなど、高齢者住宅、介護施設などの介護従事者向けの機能を追加しました。2022年秋から介護従事者向けに販売を開始し、薬の飲み忘れなど設定した時間に言葉を発する「時報」などのオプション機能を順次追加する予定です。



介護現場でのコミュニケーションロボットの活用は、癒しなどを求めたレクリエーションに限定されると思われている方が多く、「かえってスタッフの負担が増えるのではないか」「業務負担を軽減・効率化できるか」といったご相談を受けることがあります。「いまイルモ Kebbi Air」は、このような心理的なことだけではなく、施設入居者の起床やトイレのタイミングなどを24時間見守るので、スタッフの見回り業務の軽減が期待できます。また、集積したデータを使って、健康状態を“見える化”することで、体調変化の早期発見に繋がった事例も複数あります。ソルクシーズが得意とするシステム開発分野に加え、数多くの介護現場をサポートしてきた専門スタッフにより総合的にサポートさせていただきます。

■ IoTによる見守り支援システム「いまイルモ」とは

2013年にスタートしたIoTによる見守り支援システム「いまイルモ」は、多機能センサーから得た日々の行動をデータ化し、兆候を“見える化”するためのシステムで、独り暮らしの見守りをはじめ、高齢者住宅、介護施設など様々なシーン向けにカスタマイズし、“いまイルモシリーズ”としてご提供しております。

【見守り支援システム「いまイルモ」に関するお問い合わせ先】

担当：IoT事業推進室 六角（むすみ）、亀山

TEL: 03-6722-5019 FAX: 03-6722-5079

メールアドレス：support@imairumo.com

ホームページ：<https://www.imairumo.com/>

【会社概要】

会社名：株式会社ソルクシーズ

所在地：〒108-0014 東京都港区芝浦 3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 13F

代表者：代表取締役社長 長尾 章

設立：1981年2月

資本金：14億9,450万円（2021年12月末日現在）

事業内容：SI/受託開発業務（システムコンサルティング、システムの設計・開発・運用・保守）、ソリューション業務（セキュリティコンサルティング、パッケージシステムの開発・販売・保守）及び関連機器の販売等

ホームページ：<https://www.solxyz.co.jp/>

ソルクシーズグループは、
『お客様の業務改革を支えるのは、大胆で独創的な発想力、そして、迅速な対応力』を
モットーに、お客様の夢を実現するソリューション・カンパニーを目指しています。

	本リリースに関するお問い合わせ先
	株式会社ソルクシーズ 経営企画室
	TEL: 03-6722-5011（代表）
	FAX: 03-6722-5021
	Mail: ir-post@solxyz.co.jp
ソルクシーズイメージキャラクター	